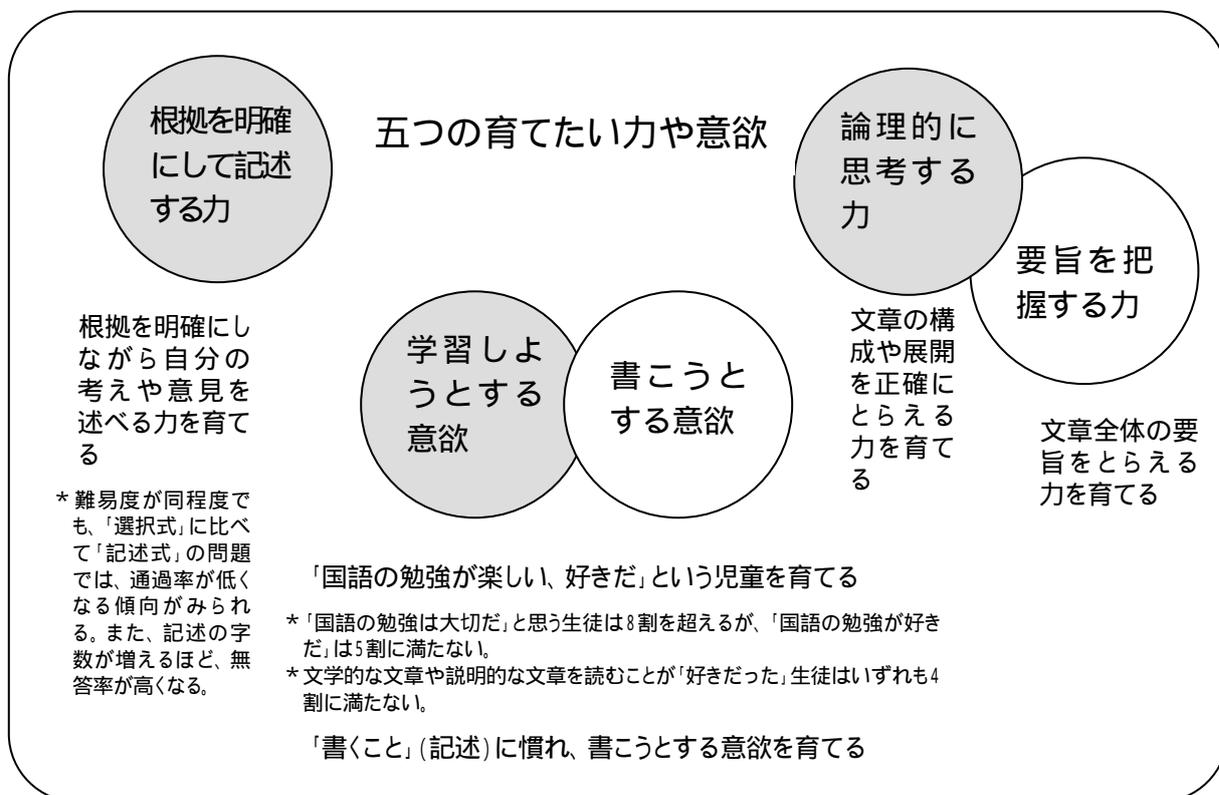


この資料に示す授業改善プランは、これまでの調査結果を踏まえ、次に示す五つの育てたい力や意欲に関し、今後の指導に役立てていただくために作成したものです。平成17年度に3回シリーズで発行した「栃木の子どもの学力向上を図る授業改善プラン」とともに、ご活用ください。



- |   |                                  |      |
|---|----------------------------------|------|
| 1 | 学習目標と学習課題との関連を吟味して書かせましょう        | P 2  |
| 2 | 生徒に記述させる手順を明確にしましょう              | P 4  |
| 3 | 書くことを生かして、詩歌の鑑賞を豊かなものにしましょう      | P 6  |
| 4 | 書こうとする意欲を高めるために、「問い方」を工夫しましょう    | P 8  |
| 5 | 「聞き取って要約する」練習を重ねましょう             | P 11 |
| 6 | 「並べ換え」の手法を生かして、文章構成を論理的に考えさせましょう | P 12 |
| 8 | 「書くために話し合う」学習活動の充実を図りましょう        | P 17 |

# 1 学習目標と学習課題との関連を吟味して書かせましょう

読みを深めるために、ワークシートやノートなどに「書く」学習を取り入れることは大変効果的です。実際に書くに当たっては、目的意識をもたせるために、学習目標を確認させたり、教師が分かりやすい説明を加えたりすることが大切です。

「モアイは語る」（光村図書2年）を例にしてみましょう。教科書には、次のような学習目標と学習課題が例示されています。

## 「モアイは語る」（光村図書2年）の学習目標・学習課題例

文章中に述べられている事実や根拠を確かめながら、筆者の意見を読み取る。段落に着目し、文章の構成をとらえる。

↑

↑

↑

学習目標の  
とは、学習課題  
の**1**と**2**とに、ど  
のように対応す  
るのでしょうか。

**2** 第三のまとまりで、筆者は、地球全体のことについて述べている。筆者の意見を二百字程度でまとめ、書いてみよう。

第3のまとまり	第2のまとまり	第1のまとまり
ページ 行目から ページ 行目まで 小見出し.....	ページ 行目から ページ 行目まで 小見出し.....	ページ 行目から ページ 行目まで 小見出し.....
内容	内容	内容
小見出し	小見出し	小見出し
内容	内容	内容

**1** この文章は、三つの大きなまとまりに分けることができる。次の表を参考に、構成をまとめよう。

この学習課題に取り組ませる前に、次のように問うと効果的です。

### 発問例

教科書の137ページには、学習課題が二つ示されています。それぞれ、どちらの学習目標を達成するための課題なのでしょう。

この問いに答えることにより、学習課題**1**と**2**が、学習目標の と と、どのように対応しているかが明確になります。

実は、学習目標の に対応するのは、学習課題の**2**のほうです。また、学習目標の に対応するのは、学習課題の**1**のほうです。これに気付くことによって、「学習目標 ( )を達成するために学習課題**2**(**1**)に取り組む」ことが明確になります。これをおろそかにすると、「何を」「何のために」書くのが曖昧な学習活動になってしまいます。

また、次の例のように、学習課題への取り組みを詳しく説明することで、学習の流れを一層明確にすることも大切です。

### 学習課題 **1** についての説明例

学習目標を声に出して読んでみましょう（「段落に着目し、文章の構成をとらえる」）。そう、二つめの目標に向かって、これから**1**の学習課題に取り組めます。ワークシートを見てください。「内容」の欄が大きいですね。

でも心配なく。「文章の構成」を大づかみでとらえることが大切ですので、「内容」の欄よりも、まず上の段を重視しましょう。第1のまとまりがどこからどこまでなのか、第2のまとまり、第3のまとまりはどこからどこまでなのかを、しっかりと考えましょう。

そのあとで、それぞれのまとまりの内容を大づかみにして「見出し」を考えてみましょう。以上ができれば今日は合格です。ゆとりがあったら、「内容」の欄へも書いてください。

目的意識をもって学習課題に取り組めるように、最初に学習目標を確認しています。

「文章の構成」をとらえるためにワークシートを使うことを強調しています。

到達目標を明らかに示しています。

### 学習課題 **2** についての説明例

「筆者の意見を二百字程度で」とありますね。そのとき、一つ目の学習目標との関連で、どんなことを二百字の中に含めて書くことが大切でしょうか。

そう、「事実や根拠」を確かめて、引用するとよいですね。単元の扉をみてみましょう。そこには、「筆者の意見をとらえ、説得力のある表現を学ぶ」という単元目標が示されています。みなさんが、どんな説得力のある事実や根拠を引用するか、先生も楽しみにしています。

この学習課題は、全員の分を印刷して配り、読み合うことを前提にして取り組ましよう。

二百字程度で何を書くのか、イメージをもたせようとしています。

取組の成果をどう扱うかを明らかにしています。

### ワンステップアップ

学習目標と学習課題との関連を、生徒に分かりやすく説明できる力を教師が身に付けることは、授業力向上を図る重要なポイントの一つです。研究授業をする場合は、指導案の「指導上の留意点」の欄などに、「実際に話す予定の説明内容」を具体的に明示するなどしておくこと、参観者に「授業の意図」が伝わります。また、授業評価の項目に、「授業のはじめの説明は分かりやすかったですか」などを加えて、自分の説明が生徒に理解されているかを確認してみることも大切です。

## 2 生徒に記述させる手順を明確にしましょう

次に示すのは、ある先生の指導案（一部）です。この指導案は、「話すこと・聞くこと」の指導に関するもので、「話す・聞く力を付けるために書くこと」を重視して計画されています。その具体的な手だてとして、実際に話すときのことを想定し、「生徒に記述させる手順」についての指導者の説明を、指導案の「教師の支援および指導上の留意点」に具体的な言葉で示しています（囲み～参照）。

このように、どのような説明をすれば生徒が理解するか、実際の記述がうまく進められるかを、あらかじめ具体的な説明のプランとして考えておくことが大切です。

### 国語科学習指導案（略案）の例

#### 1 教材名 立場を決めて討論しよう

#### 2 指導計画と評価計画

時	ねらい	主な学習活動	評価の観点					評価規準と評価の方法
			関	話	書	読	言	
1	・討論の方法を理解する。	・教科書の説明を読んで討論の方法を知る。						・(関)討論の仕方のポイントに線を引いたり、確認のため友人と話したりしている。[観察、ワークシート]
2	・自分の立場を確認し、討論の準備をする。	・論題、立場を決定する。 (5、6人グループ) ・立論を考え、まとめる。 ・予想される反論やそれに対する答えを考える。 ・相手の立論への反論を考える。 ・説得力のある話し方を考え、発表の練習をする。						・(関)話し合いの中で、メンバーの発言を整理するなどして、グループの意見をまとめようとしている。[観察・発言] ・(話・聞)グループでの話し合いにおいて、自ら意見を述べたり、友人の意見に対する同意や反対の考えを述べたりしている。[観察、ワークシート]
3								
4 本時	・根拠を明確にして、分かりやすく自分の意見を主張するとともに、相手の意見を尊重し、自分の考えを深める。	・討論を行う。 ・討論を振り返ったり、他のグループの討論を聞いたりして、振り返りカードをまとめる。						・(関)順序立てて話すなどして、聞き手に分かりやすく話そうとしたり、相手の意見に質問するためメモをとろうとしたりしている。[観察・ワークシート] ・(話・聞)自分の意見の根拠を順序立てて話している。[観察・ワークシート] ・(言)クラス全員が聞き取れる音量や速さ、言葉遣いに気を付けて話している。[観察]
5								
6								

#### 3 本時の指導

(1) 目標 根拠を明確にして、分かりやすく自分の意見を主張するとともに、相手の意見を尊重し、自分の考えを深める。

#### (2) 評価規準

国語についての関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
・聞き手に分かりやすく話そうとしたり、相手の主張を的確に聞き取るうとしたりしている。	・自分の主張を、根拠を順序立てて示すなどして、相手に分かりやすく話している。 ・相手の意見を聞き取って、自分の考えに生かそうとしている。	・速度や音量、言葉遣いに注意して話している。

(3) 展開

具体目標	学習活動	時間	教師の支援および指導上の留意点	評価																					
本時の学習内容と目標をつかむことができる。	1 本時の学習内容と目標を確認する。	2	今回は実際に討論ゲームに入っていきます。討論をする際に意識することを黒板に書いておきました。まず、話す時は根拠を明確にして分かりやすい話し方を意識すること。そして、人の意見を聞くときは、よく聞いて自分の考え方に反映させようとする。この二つを意識して討論にのぞんでください。 黒板に目標を掲示し、意識づけを図る。	(関心・意欲・態度) 聞き手に分かりやすく話そうとしたり、相手の主張を的確に聞き取るうとしていく。 (観察・ワークシート)																					
自分の意見をしっかりと記入することができる。	2 ワークシートに今回の論題についての自分の考えを記入する。	5	まずワークシートに今回の論題を記入しましょう。「終わったらその論題について、自分の考えはどちらの立場に当たるか書きましょう。また、なぜそのように考えるのか、その根拠をあげられるだけあげてみましょう。」 机間指導をして、書けていない生徒には助言をする。																						
意見を述べるときや聞くときの注意点について、意識を高めることができる。	3 評価用ワークシートで、討論のときおよび聞くときの注意点、評価の観点を確認する。	3	評価項目を各自読んでください。これらの項目について先生も評価をします。ポイントは大きく分けると三つです。一つ目は、しっかりと根拠に基づいた主張ができていたか、二つ目は相手の意見をしっかりと聞いたうえで反論できていたか、三つ目は聞き取りやすい話し方で話せていたか、です。 評価の観点を確認することで、発表するときや、聞くときの注意点を意識させる。	(話し合い・聞くこと) 自分の主張を、相手に分かりやすく話している。 (観察) 相手の意見を聞き取って、自分の考えに生かそうとしている。 (観察・ワークシート)																					
自分の主張をしっかりと根拠をもとに分かりやすく話すことができる。	4 討論ゲームを行う。 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>討論する班</th> <th>時間</th> <th>聞き手</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>立論(各2分)</td> <td>4</td> <td>メモをとる。</td> </tr> <tr> <td>作戦タイム</td> <td>3</td> <td>評価カードを記入する。</td> </tr> <tr> <td>反対尋問(各3分)</td> <td>6</td> <td>メモをとる。</td> </tr> <tr> <td>自由論戦</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>作戦タイム</td> <td>2</td> <td>評価カードを記入する。</td> </tr> <tr> <td>最終弁論(各1分)</td> <td>2</td> <td>メモをとる。</td> </tr> </tbody> </table>	討論する班	時間	聞き手	立論(各2分)	4	メモをとる。	作戦タイム	3	評価カードを記入する。	反対尋問(各3分)	6	メモをとる。	自由論戦	3		作戦タイム	2	評価カードを記入する。	最終弁論(各1分)	2	メモをとる。	20	あらかじめ討論ができる隊形をつくっておくようにする。 聞き手は真剣に討論を聞き、しっかりと要点をメモできるように指導する。 論戦では、互いの意見を述べる時間が平等になるように配慮する。 作戦タイムには教師が必要に応じて助言をするようにする。 発表者が意見につまるような場合は、適宜教師が助言をするようにする。	(言語事項) 速度や音量、言葉遣いに注意して話している。 (観察)
討論する班	時間	聞き手																							
立論(各2分)	4	メモをとる。																							
作戦タイム	3	評価カードを記入する。																							
反対尋問(各3分)	6	メモをとる。																							
自由論戦	3																								
作戦タイム	2	評価カードを記入する。																							
最終弁論(各1分)	2	メモをとる。																							
他人の意見をよく聞いて自分の意見を深めることができる。	5 今回の討論を通して、自分の考えがどう深まったかをワークシートに記入する。	10	最初に書いた自分の考え方が討論を通してどう変わったかを書いてみましょう。特に、自分では気付かなかったが、討論を通してでた、自分が納得できるような意見などを書いてみましょう。 教師は机間指導をし、書けていない生徒に助言をする。 討論を通して自分の考えがどう深まったかを書けるように指導する。																						
自分の活動を振り返り、反省することができる。	6 ワークシートに記入した内容を発表し合う。 7 自己評価を行う。	3 5	意見の深まりについてよく書けている生徒を指名するようにする。 自分の活動を客観的に振り返って評価できるように指示する。																						
本時を振り返り、次時の活動につなげようとするすることができる。	8 本時のまとめを聞く。	2	次時に討論をする班が、さらによい討論ができるようにポイントを再確認する。																						

ワンステップアップ

この指導案では、本時の具体目標の達成を目指して、次のような工夫が図られます。

- \* では「この二つを意識して」と、では「ポイントは大きく分けると三つです」というように、学習の留意点を数字で示すことで、生徒に明確に意識させようとしています。
- \* では「終わったら～しましょう」と、学習活動が早めに終わった生徒への指示もあらかじめしています。
- \* では「特に、～書いてみましょう」と、学習活動のポイントを強調しています。

このように、説明のプランを考えるに当たっては、「本時のねらい」を踏まえてどのような学習活動を展開すればいいのかについて、ポイントになることを明確にしておくことが大切です。

### 3 書くことを生かして、詩歌の鑑賞を豊かなものにしましょう

詩歌教材の学習目標は、詩歌の表現の特徴に注意して読み味わう力や、詩歌に描かれた世界を想像する力、詩歌の表現を味わうことにより言語感覚を磨く力などを身に付けるために設定されることが多いようです。次にその例を示します。

#### 「短歌の世界」(三省堂2年)の学習目標例

短歌に描かれた世界を豊かに想像し、味わう。

短歌のリズムや表現方法などの特徴を理解して、それぞれの内容をとらえる。

この学習目標を達成するために、生徒自身に調べさせたり考えさせたりすることも大切ですが、生徒にとってはあまりなじみのない短歌について、理解を促す「補助プリント」などを用意し、「考えるヒント」を与えることも効果的です。

次に示すのは、鑑賞文の書き方を例示することにより、生徒が短歌の表現に着目して主体的に考え、記述することを促した例です。

#### 「短歌の世界」(三省堂2年)の学習課題例

教科書の十首から、好きな短歌を選び、その情景や心情がどのように歌われているか、読み取ったり想像をめぐらしたりして、鑑賞文を書いてみよう。その際、先生が示した例を参考に、短歌の表現を具体的に「引用して書く」ことを条件とする。

#### 教師からの例示(プリントにして配布)

##### 私が選んだ短歌

「寒いね」と話しかければ「寒いね」と答える人のいるあたたかさ 俵万智

##### 私の鑑賞

「寒いね」と話しかけると、「寒いね」と答えてくれる人がいる。そのあたたかさがなるともうれしい。

このような何気ない言葉の中に、人と人とのぬくもりが感じられる。会話は「寒い」だが、気持ちは「あたたかさ」であるという表現もおもしろい。このようなやりとりができるのは、きっと恋人同士なのだろう。

音読するときは、二つの「寒いね」を、それぞれどちらかが男性でどちらかが女性であることを想定しつつ読むとともに、「あたたかさ」のところを明るくほのぼのとした語感が伝わるように読みたい。

このように、例示のプリントがあることで、生徒は具体的にどう書けばよいかをイメージすることができます。その際に、記述のポイントを教師が分かりやすく説明することが大切です。

### 例示の説明例

今回は、どんなことを書くのか分かりやすくするために、段落に番号を付けてみました。

まず、では、その短歌の歌の意味を書きました。

次に、では、短歌の中の言葉を引用しながら、先生が想像したことを書いてみました。

では、この短歌を音読するときに心がけたいことを書いたんですよ。

みなさんが書くときには、段落番号は書かなくてもけっこうですが、最初の段落に「歌の意味」を、次に「短歌の言葉を引用しながら感じたこと」を、最後に、「音読するときに心がけたいこと」を書いてください。

このように例示することは、短歌の鑑賞に限らず、俳句や漢詩、古典の和歌などの鑑賞にも効果的です。次に、漢詩の学習で生徒が書いた鑑賞文の例を示します。

### 生徒の鑑賞文例（「黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る」李白）

古くからの友人が、かすみ立つ三月に、揚州へと舟で下っていきます。その友が乗る一その帆かけ舟がしだいに遠ざかっていき、青空のかなたに吸い込まれるように消えました。

広い長江だから、きっと水平線に消えるように見えたに違いありません。授業では、帆かけ舟の帆の色が何色が、みんなで想像しました。青空に似合う色として白が有力でしたが、黄鶴楼の伝説にちなんで、私は黄色もいいかなと思いました。

この漢詩を何度も読んでいるうちに暗唱できるようになりました。今度読むときは、友人を送る気持ちをこめて、間の取り方をゆったりとして読みたいです。

漢詩の内容を、現代語訳を参考にし、分かりやすく述べています。

自分なりの音読の効果についても述べています。

### ワンステップアップ

教科書における詩歌の扱いは、各社とも、短歌が2年生に1回、俳句が3年生に1回用意されている程度です。詩の扱いは教科書会社ごとに違いますが、3年間でわずかに数編を扱う程度です。したがって、それぞれの単元での指導機会を大切にするとともに、日常的な指導において、「教室掲示」や「範読」なども交えて、詩歌に触れる機会を増やすことが望ましいと考えられます。生徒が自ら探した詩歌やその鑑賞文などを掲示したりすることなどの工夫を加えると、詩歌への興味・関心と鑑賞文を書く意欲を継続することができるでしょう。また、単元の扉に詩歌や季節の言葉を載せたり、資料編に詩歌を載せたりしている教科書もありますので、折りにふれて取り上げるようにしたいものです。

#### 4 書こうとする意欲を高めるために、「問い方」を工夫しましょう

書こうとする意欲が高まらない生徒の多くは、その理由に、「何を書けばいいのか分からない」ことを挙げています。また、教師のほうでは書き方をきちんと説明しているつもりでも、気付かないうちにワンパターンの説明になっており、生徒のやる気を引き出せないでいる場合もあります。

そこで、「例示」や「問い方」を工夫し、何をどう書けばよいか、何のために書くのかなどについて、生徒に分かりやすく理解させ、書くことへの意欲をかきたてるようにする必要があります。ここでは、1年生の説明的な文章の指導における例を紹介します。

「未来をひらく微生物」(光村図書1年)の学習課題例

文章中から必要な情報を選び出し、次の言葉を分かりやすく説明しよう。まず短い文で簡潔に説明し、次に、例やくわしい説明などを付け足してみよう。

・微生物 ・発酵 ・生分解性プラスチック

このような学習課題に取り組ませる場合、生徒には記述に要する思考の時間や実際の記述の速さなどに個人差があることを考慮したうえで、次のような展開例(1~4)を参考にすると効果的です。

展開例1(要約例を比較することで、記述の留意点を考えさせる)

「微生物」について説明した例を二つ示します。どちらのほうが筆者の説明をまとめた例として望ましいですか。また、その理由は何ですか。

A 微生物には、カビやイースト菌や乳酸菌などがある。微生物には、人間の健康や生活に害をあたえるものもいるが、人間の役に立つ微生物も多い。

B 微生物には、カビのように、人間の健康や生活に害をあたえるものもいる。しかし、イースト菌や乳酸菌のように、人間の役に立つ微生物も多い。

[解答] Bのほうが望ましい。Aは、どんな微生物が人間に害をあたえるのか、また人間の役に立つのか、その区別が付かないのに対して、Bは、その区別が付くから。

このように、例を比較させることによって、文脈に即して記述するに当たっての留意点を考えさせるとともに、「文脈に即して考える力を付けるために書く」ことの理解につなげることができます。

## 展開例 2（字数等の目安や手だてを具体的に示す）

「微生物」については、次の目安や手だてをもとに取り組んでみよう。

微生物とは何かを説明するとき、字数は 20 字以内で考えよう。

微生物の例や説明にあたっては、次の二つの点からまとめよう。

- ・人間の健康や生活に害を与える微生物
- ・人間の生活に役立つ微生物

このように、字数や使用語句の目安や条件を示すことによって、「文章の表現に即して考えさせる」ことができます。

## 展開例 3（型を示すことで、記述のイメージをつかませる）

次に示すのは、「微生物」について説明した例ですが、空欄の箇所がいくつかあります。そこにあてはまる表現を引用し、例を完成させ、あとの問いに答えてみましょう。

微生物には、カビのように、（ ）ものもいる。いっぽう、（ ）のように、人間の役に立つ微生物も多い。また、微生物は、（ ）を分解して土に変えるなど、（ ）でも大きな役割を果たしている。

このように、型を示すことで、文脈に即してまとめるうえでの具体的なイメージをつかませることも効果的です。

## 展開例 4（教師の説明を生かして、要約の目的や手順を理解させる）

まずみんなで「微生物」について考えながら、要約のこつをつかみましょう。

段落には、その段落の内容をまとめている一文がある場合もあります。第 段落がちょうどそうなのです。では、その一文を探してみましょう。

解答例 「わたしたちは微生物に囲まれて生活している。」

第 段落では、微生物の例を紹介しています。文は全部で五つですね。その五つのうち、どれが一番、段落全体を代表していると思いますか。

解答例 「住居を汚したり、食べ物を腐らせたりするカビのように人間の健康や生活に害を与える微生物もいるが、いっぽうでイースト菌や乳酸菌のように人間の生活に役立つ微生物も多い。」

（次ページに続く）

(前ページより)

その文の中で、省略できる言葉はどれでしょう。少し短い文にしてみましょう。

例1 「カビのように人間の健康や生活に害を与える微生物もいるが、イースト菌や乳酸菌のように人間の生活に役立つ微生物も多い。」

例2 「人間の健康や生活に害を与える微生物もいるが、人間の生活に役立つ微生物も多い。」

例3 「微生物には、人間の健康や生活に害を与えるものもいるが、役立つものも多い。」

要約文は、できるだけ短いほうがよい場合もあるし、あまり短くしてしまうと伝えたいことが伝わらなくなる場合もあります。例1、2、3の場合は、どれがいいでしょうか。その答えは、今までに出たことを小さな声に出して読み、要約文になりそうかどうか、自分の声で確かめながら考えてみましょう。

解答例 この場合は例1がよい。もし、文章全体を要約するのであれば例2か例3がいい。しかし、この学習課題では、「例やくわしい情報を付け足し」という条件があるので、どんな微生物がどういうはたらきをするのかを述べる必要がある。したがって、例1がよい。

以上のことを参考に、ノートに書いてください。

例 「わたしたちは微生物に囲まれて生活している。微生物には、カビのように人間の健康や生活に害を与える微生物もいるが、イースト菌や乳酸菌のように人間の生活に役立つ微生物も多い。」

ここで、今までの手順をまとめてみます。

板書例

- 1 段落の内容をまとめている一文を探す。
- 2 なくても差し支えない言葉をけずる。
- 3 要約文にまとめるために、読んで確かめながら書く。

この手順で学習をすると、どんな国語の力が身に付くと思いますか。

発言例

- ・文章を詳しく読もうとするようになる。
- ・文章に書かれていることを正確に読もうとするようになる。
- ・文章の内容をまとめる力が身に付く。 など

では、そういう力をさらに身に付けるために、学習した手順を生かして、次の「発酵」に取り組んでみましょう。時間は8分程度とします。必要があれば、ペアで相談してもかまいません。あとで発表してもらいます。

## 5 「聞き取って要約する」練習を重ねましょう

自分の意見を話すときは、一方的に話すのではなく、相手の話を聞いて、その意見に同意したり質問したりしながら、話すことが大切です。その力を付けるために、相手の話を「聞き取って要約する」などの練習をさせましょう。

### 教科書教材を生かして

#### 「聞き上手になろう」(東京書籍2年)の学習活動例

- \* 学習目標 問題意識をもって相手の話を聞く力を養う。
- \* 学習課題 次のようなテーマで、相手の話を聞いて、それを要約する練習をしよう。  
例 和食と洋食ではどちらが優れているか。など

「聞き上手になろう」(東京書籍2年)には、上記のように、「相手の話を聞いて要約する」という学習活動が設定されています。教科書に掲載されている例話のほかにも、教師が例話を自作するなどして、要約の練習を重ねていくと効果的です。

#### 教師の自作による例話の例

これから話す例を聞いて、その話の内容を要約し、ペアで伝え合ひましょう。  
(例話) わたしは、電話よりも手紙のほうがいいと思います。手紙は自分の気持ちを詳しく相手に伝えるのに適しているからです。文字で伝えることにより、相手は必要に応じて繰り返し読み、書き手の気持ちを理解することができます。また、伝えようとするのをうまく書けなかったときには、納得するまで書き直してから出すこともできます。  
電話の場合は、思いがけない相手の反応などにより、言うてはいけなことを言うてしまう危険もあります。また、一度きりの会話では、お互いに伝えようとしている気持ちを理解し合えない場合もあります。

#### 聞き上手になるためのポイント

##### 聞くとき

話の「結論」をメモする。  
その理由や根拠を聞き取りながら、たくさんあるときは、「箇条書き」にしていく。

##### 話すとき

話す前に頭の中で、相手の話を「要約」してみる。必要に応じて「メモ」を見る。

自分が話すときは、相手の考えやその根拠などを「引用」して話す。

##### 対話が続くとき

必要に応じて、自分の考えを「整理」したり、相手の考えを「確認」したりする。

#### 「相手の話を聞いて要約する」こととの関連指導が考えられる教材

##### 「表現プラザ2 話をつなぐ」(三省堂1年)

相手の話を「引用」しながら話をつないでいくようにすると、効果的に話をつなぐことができる。ある程度話が進んだら、自分たちの話を振り返って、話題や内容を整理し、「箇条書き」にしたり、「要約」したりする。

##### 「話し合って考えよう グループ・ディスカッション」(光村図書1年)

班ごとに話し合いの結果を「報告」するには、班員がそれぞれ自分の考えを「要約」して再び話し、「整理」していくことで、意見の集約を図ることができる。

## 6 「並べ換え」の手法を生かして、文章構成を論理的に考えさせましょう

「文章の構成や展開」をとらえる力を身に付けるには、どのような学習が効果的でしょうか。「考えるイルカ」（東京書籍2年）では、次のような学習目標と学習課題が教科書会社のホームページに例示されています。

### 「考えるイルカ」（東京書籍2年）の学習目標と学習課題例

- \* 学習目標 論理の展開の仕方をとらえて吟味しよう。
- \* 学習課題 a 筆者の論証の仕方を確かめながら読もう。
  - ・ 実験や訓練の手順とそれぞれの結果について、見出しをつけたり、要約したりしてみよう。
  - ・ 筆者が行った実験を図やフローチャートの形に整理して、論証の仕方をとらえよう。
- \* 学習課題 b 筆者の考察や考え方について、論理の展開を吟味しよう。
  - ・ 実験結果について、筆者はどんな根拠に基づいてどう判断しているか整理してみよう。
  - ・ イルカの賢さについて、筆者はどのように考えているか、根拠を整理して話し合ってみよう。

この学習課題のうちの\_\_\_線部は、従来から多くみられる、いわば「定番」ともいえる学習課題です。また、~~~~線部は、手法としては新しいものです。

このような方法の中から、生徒の実態に合うものを選択するわけですが、上記の方法はすべて「書くこと」を伴うために、時間と手間がかかることに加え、単調な学習になりがちです。

### 文や段落をばらばらにする

そこで、「書くこと」は後回しにして、まず具体的な作業から入る手法を紹介しましょう。それは、文や段落をばらばらにしたうえで、正しい順序に並べ換えるというものです。「筆者の論証の仕方を確かめながら読もう」というねらいにぴったり合う手法です。

#### 説明例

ちょっと楽しい勉強をしましょう。第 段落にある「条件性弁別」という訓練方法を説明している段落は第 段落と第 段落です。そのうち、第 段落について考えます。第 段落は六つの文からできています。その六つをばらばらにしてカードに一文ずつ書いたものをこれから配ります。これを正しい順に並べ換えましょう。それができたら、筆者のいう「条件性弁別」が理解できたことにもなります。ヒントとして、第 段落（一文）を書いておきます。

（板書） 実験の前の準備として、シロイルカに次のような訓練を行った。

この続きを考えてもらうわけです。このような学習は、初めてなので、まず一回先生が音読してからカードを配ります。では聞いてください。

配布カード例（第 段落の文をばらばらにしたもの）

- ア このときシロイルカがRのほうにタッチすれば正解としてえさをやる。  
イ まず、シロイルカにフィンを見せる。  
ウ そして、このときは の板に触れたら正解としてえさをやる。  
エ そして、それを隠して、すぐにアルファベットのRの描かれた板を見せる。  
オ 次に、今度はマスクを見せ、やはり同じように二枚の板を見せる。  
カ これらを繰り返し行っていくと、やがてイルカはフィンを見せたときはRを、マスクを見せたときは を選ぶようになる。

このような「並べ換え」をするときは、接続語や指示語の指示内容などをもとに文のつながりを考えさせ、どうしてそう考えたのかを論理的に説明させることが大切です。

上の例は、「文の並べ換え」をするものですが、指導の必要に応じて、意味段落内での「段落の並べ換え」や、文章全体での「段落の並べ換え」などを行うことも効果的です。

意味段落内や任意の段落のまとまりでの「段落の並べ換え」に適すると思われる教材例

「ユニバーサルな心を目指して」（三省堂1年）

対象範囲…第 段落～第 段落

着眼点…「つまり」「例えば」「さらに」「このように」といった接続の言葉に着目させる。

「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」の定義と筆者の説明に着目させる。

「ごはん」（東京書籍3年）

対象範囲…第 段落～第 段落

着眼点…「その」「それ」「この」といった、段落のはじめにある接続の言葉に着目させる。

時間の経過に即して人物がどんな行動をとっているかを考えさせる。

文章全体での「段落の並べ換え」に適すると思われる教材例

「ハチドリ不思議」（東京書籍1年）

学習目標…文章の構成や因果関係を読み取る。

着眼点…段落の最後の一文に着目させ、それにつながる言葉を推論させる。

「体温」「冬眠」などのキーワードに着目させる。

「生き物として生きる」（光村図書3年）

学習目標…根拠や理由に着目しながら、論理の展開をとらえる。

着眼点…筆者が根拠として示している例やその説明に着目させる。

## 7 「書く」ことで古典に自信をもたせましょう

中学校の古典指導は、「古典としての古文や漢文を理解する基礎を養い古典に親しむ態度を育てる」とともに、「我が国の文化や伝統について関心を深めるようにする」ことをねらいとしています（学習指導要領解説）。そのために、「音読などを通して文章の内容や優れた表現を味わう」（同）ことが強調されていますが、ほかにも次のような手だてが考えられます。

### 音読以外の指導の手だての例

- (1) 落ち着いた気持ちで、正確に視写する。
- (2) 読み慣れた後、現代語訳を伏せ、古文だけを見て、現代文に直して書く。
- (3) 古典を鑑賞した文章（中学生向け）を読んだり、映像化または音声化された教材を利用したりして、古典の内容理解を一層図るとともに優れた表現を味わう。
- (4) ある程度読み慣れたとき、古文の内容に関する聞き取り問題やクイズに答えるなどして、一層の理解を図る。

### 自分の言葉で現代文に置き換える

上記のうち、(1)と(2)を組み合わせた学習課題の例を紹介します。

「おくのほそ道」の学習課題例（光村図書3年、東京書籍3年、三省堂3年、学校図書3年）

「おくのほそ道」の冒頭部分に読み慣れたら、芭蕉になりきったつもりで、次の学習のどれかに取り組んでみよう。

ノートに視写した「おくのほそ道」の冒頭部分を、中学生に分かる現代語に直して書いてみよう。

「おくのほそ道」の冒頭部分を10行以上暗唱し、教科書を開かず古文を思い出して書いてみよう。

「おくのほそ道」の冒頭部分を丁寧に視写しよう。終わったら、現代語に直しながら声に出して読んでみよう。

### 生徒が取り組んだ例（ の場合）

月日は永遠の旅人のようなものである。それは、終わりになく続いていくものだ。行ったり来たりする年もまた旅人である。李白の詩でもそううたわれている。生涯を舟で過ごす船頭や、馬のくつわを取りながら老いていく馬子は、その日々の生活が旅であって、旅をすまいとしている。昔の詩人たちの中にも、旅の途中で死んだ人が多い。李白や杜甫、西行など、あこがれの詩人たちもみなそうだった。

中学生の自分たちに分かりやすい言葉を選んだり補ったりして書いています。（\_\_線部）

原文では言外に示唆するのにとどめている詩人名を出して、分かりやすくしています。（\_\_線部）

## 聞き取って書く

古文を「聞き取る」ことも効果的です。次に、「徒然草」の「仁和寺にある法師」を題材にして、「聞き取って書く」例を紹介します。

### 「仁和寺にある法師（徒然草）」（光村図書2年）の聞き取り問題例

T 読み慣れてきたところで、聞き取り問題にチャレンジしてみましょう。教科書を閉じましょう。ノートに、一行ごとに1、2、3、4、5と、番号を5まで付けてください。

初めてなので、ヒントを出します。メモしても結構です。

1には、何という寺の法師か、「お寺の名前」を書いてください。

2には、その法師はどこへ行ったのか、「目的地」を、3には、どうやって行ったのか、「交通手段」を書いてください。

4には、「少しのことにも道案内はほしいものだ」と兼好法師が思ったのはどのようなことからか、「理由」を説明してください。

5には「これを読んだ感想」を書いてください。

T では、これから、古文を、最初の五行ほどを二回読みます。それを聴いて、ノートに答えを書いてください。4と5は、まわりの人と話し合ってから書いてください。

解答例 1 仁和寺      2 石清水      3 徒歩  
4 神を拜むのが本来の目的だから  
5 この話を読んで、ぼくにも似たところがあるなと思った。ぼくも、よく確かめないで行動してしまうことがあるからだ。でも、本人はけっこう満足していたようである。また出かける楽しみができたとも思えばよいのではないか。

出題内容をあらかじめ予告することで、聞こうとする意欲を高められます。

聞き取ったことをもとに、個人で考えたり、級友と一緒に考えたりすることで、内容理解につながります。

書くことによって理解をさらに確かなものにしていきます。

このように、「聞き取って書く」などの活動を取り入れていくと、「聞く力」の向上を図るうえ大変効果的です。また、音読による学習を生かすことにもつながります。

次に、聞き取り問題をクイズ形式にして、一層楽しく、「聞き取って書く」学習を展開した例を紹介します。

### 「那須与一・扇的（平家物語）」の例（光村図書2年、東京書籍2年）

T みなさん、読み慣れてきたようなので、クイズに答えて、一層の理解を図りましょう。クイズは全部で三問です。教科書を見ながら、必要に応じて古文に線を引いたり、何で調べれば分かるかなどを考えながら聞いてください。答えはすべての出題が終わってから書きましょう。出題を聞くときに、メモをとってもかまいません。

「聞き取って書く」活動をどのように行うのか、具体的に指示しています。

Q 1 与一が使った矢は、どんな種類の矢だったでしょう。また、その図はどこに載っていますか。

Q 2 扇の的とくしを絵にかきましょう。また、扇は何色ですか。

Q 3 与一の矢は、的のどこに命中しましたか。絵に印を付けましょう。また、その理由を書きましょう。

今回は、以上です。では、必要に応じて調べたり、友達と話したりしながら、20分以内でノートに書きましょう。

矢の種類に着目させ、本文をもとに想像して考えさせます。

絵に描かせながら、本文を正確に読ませようとしています。

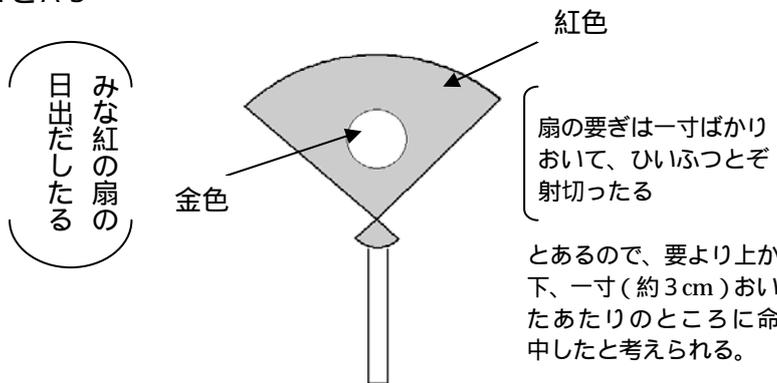


このクイズによって、このあとの学習では、扇が空中に舞い上がってゆっくりと海上に落ちる描写のすばらしさなどに気付かせます。

解答例

A 1 かぶら矢

A 2 と A 3



(補足) 原文にあたると、扇の的まではちょっと遠かったので、与一は海に六間(10メートル程度)馬を乗り入れ、それでもまだ四十間あまりは(70メートル程度)あると見たことが書かれている。その距離で命中させることは至難のわざである。

### 小学校の教科書を知ることも大切です

小学校の教科書には、「声に出して読もう」などのメッセージが添えられ、日本語の調べを体感するための発展教材として、次のような文語文が掲載されています。1年生の指導では、生徒がこれらの教材をどのように学習してきたかを確かめることも必要です。

小学校教科書に掲載されている文語の教材例(主なもの)

東京書籍5年下(付録)

「竹取物語」(冒頭)現代語訳付き

「百人一首」山部赤人など四首

現代語訳付き

「吾が輩は猫である」(冒頭)

「坊っちゃん」(冒頭)

「蜘蛛の糸」(冒頭)

東京書籍6年下(付録)

「枕草子」(清少納言)(第一段)現代語訳付き

「平家物語」(冒頭)現代語訳付き

「論語」の言葉 現代語訳付き

光村図書6年上

(本編)詩「りんご」(山村暮鳥)

(発展教材)「今も昔も」「狂言 柿山伏」

## 8 「書くために話し合う」学習活動の充実を図りましょう

教科書によっては、学習目標や学習課題の具体的な設定が、学習者に委ねられる単元があります。例えば、東京書籍の「わたしの国語学習」(各学年)がそれに該当します。教師と生徒が相談しながら学習材を選択し、学習目標や学習課題を設定して学習計画を立てるようになっていきます。ユニークで大胆な単元といえるでしょう。このような単元では、学習活動を生徒に任せる前に、学習計画づくりを綿密に行うなどして、どんな力を身に付けるために、何をどう学習するのか、内容や手順をはっきりさせるようにしたいものです。とりわけ、「書くこと」を学習過程(特に話し合いの場面)に効果的に取り入れることで、生徒の思考を促すとともに、学習のまとめ(発表)が充実したものになるようにしたいものです。

「わたしの国語学習」(東京書籍1年)の学習課題例

\*学習計画例(プリント)

\*学習課題 「そこに僕はいた」「さんちき」「少年の日の思い出」「カメレオン」の中からそれぞれに作品を選んで、登場人物に手紙形式で感想を書いて読み合おう。

\*学習材と手順 共通の学習材「そこに僕はいた」(4時間)  
選択の学習材「少年の日の思い出」「さんちき」「カメレオン」(3時間)

\* どちらの場合も、次の手順で学習する。

登場人物に手紙形式で感想を書くために話し合う(グループ)

書く(個人) ・人物の心情などをとらえた表現を引用して書く

読み合う(グループ)

発表会(グループ発表1時間、全体発表1時間)

書くことが苦手な生徒には、できるだけ具体的な書き方を指示する必要があります。例えば、ヒントカードなどを用意しておき、それを参考にして書かせるようにするのも一案です。また、実際に記述させる前に、グループで感想を自由に話し合う学習活動を取り入れると、イメージがふくらんで、個人での「書くこと」が円滑に進むことが期待できます。次に示すのは、そのために考案した学習課題の説明例です。

## 説明例

(単元のはじめの説明とは別に、共通の学習材「そこに僕はいた」の全文を黙読または音読し、あらすじを確認するなどしたうえで、具体的に説明する場合の例)

これから行う学習は、「僕」に手紙形式で感想を書く、というものです。これは、「まとまった字数の感想を書くことができる」という国語の力を身に付けるための学習です。また、「そこに僕はいた」で身に付けることになる力を生かして、そのあとに、選択の学習材(「少年の日の思い出」「さんちき」「カメレオン」)を用意していますので、「感想を書く力」を一層発揮してほしいと思います。

では、「そこに僕はいた」での感想の書き方について、具体的に説明しましょう。「P S」に「今、彼はどこの街を歩いているのだろう。」と書いてありましたね。あれから四年たったと仮定してみましょう。二人とも、中学校1年生くらいです。みなさんと同じ年ごろですね。二人がああ頃の自分たちをなつかしく思い出して手紙を書きたくなったとします。もし、みなさんが二人のうちのどちらかだったら、もう一人に、どんな手紙を書くでしょうか……。そこで、「僕」または「あーちゃん」になりきって相手に手紙を書いてみましょう。

先生はその手紙を読んで、みなさんがこの教材から何を理解したかを判断します。みなさん同士でも読み合う時間を設けます。書くに当たっては条件が一つだけあります。それは、印象に残った会話や行動描写をあわせて三つ引用して手紙を書くこと。どこをどう引用するかが工夫のしどころになりますよ。

実際に手紙を書くのは、次の時間です。今日は、そのための準備をしましょう。まず20分程度の時間をとりますので、各自、もう一度黙読をしながら、引用のための表現を探しましょう。その途中で、グループの人と小さな声で、どんな表現に線を引いたか、確認し合ってもいいです。

後半の20分で、手紙を書くために、話し合いをしましょう。そのとき、自分はどんなところに線を引いたか、線を引いた表現からどんな気持ちを読み取ったのかなど、お互いの意見を交換しましょう。話し合いでは、ノートにメモをとるとよいでしょう。きっと、次の時間に手紙を書くとき、相手の気持ちを踏まえて書くうえでの参考になりますよ。

## ワンステップアップ

感想を書いたり話したりする学習では、「表現を引用しながら感想を書いたり話したりする」ことが大切です。とりわけ、「感想を話し合う」場合においては、「どのような表現をもとにそう思ったのか」を述べ合うことで、話し合いの方向を確認したり、互いの考えや思いの理解を深めることができます。

## 平成 18 年度 研究委員会（中学校・国語科）

総 括	栃木県総合教育センター		所 長	五味田謙一
研究委員長	同	研究調査部	部 長	江部 信夫
研究副委員長	同	研究調査部	部長補佐	杉田 知之
委 員	上都賀教育事務所		指導主事	近藤 秀人
同	那須教育事務所		指導主事	丑越 薫
同	芳賀教育事務所		指導主事	齋藤 正幸
同	学校教育課		副 主 幹	中島 聖巳
同	栃木県総合教育センター	研 修 部	指導主事	鹿嶋 実
同	同	研究調査部	部長補佐	杉田 知之
同	同	研究調査部	指導主事	吉澤 正光
事 務 局	栃木県総合教育センター	研究調査部	副 主 幹	矢口 真一
同	同	研究調査部	指導主事	小川 順子

平成 18 年度 栃木の子どもの学力向上を図る学習指導プラン  
 確かな学力を育むために  
 【中学校・国語科】

発 行 平成 19 年 1 月  
 栃木県総合教育センター 研究調査部  
 〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町 1070  
 TEL 028-665-7204 FAX 028-665-7303  
 URL <http://www.tochigi-c.ed.jp>

栃木の子どもの  
学力向上を図る  
学習指導プラン  
【中・国語科】



いきいき栃木っ子3あい運動  
- 学びあい 喜びあい はげましあおう -